


# たが

こんにちは   
議会です!!



やったぜ!! 国際大会優勝(イタリア) 多賀少年野球クラブ

- ・ 決算特別委員会報告 ..... 2
- ・ 9月定例議会 ..... 4
- ・ 臨時議会・子ども議会 ..... 5
- ・ 各委員会報告 ..... 6
- ・ 一般質問 7 議員が問う ..... 9
- ・ たがとともに ..... 14

## 第131号

平成23年11月1日発行  
発行多賀町議会  
編集議会広報常任委員会

滋賀県犬上郡多賀町大字多賀324  
〒522-0341 ☎0749(48)8126  
FAX 0749(48)0157  
有線 2-2011

ホームページ <http://www.tagatown.jp>  
E-mail [gikai@town.taga.lg.jp](mailto:gikai@town.taga.lg.jp)

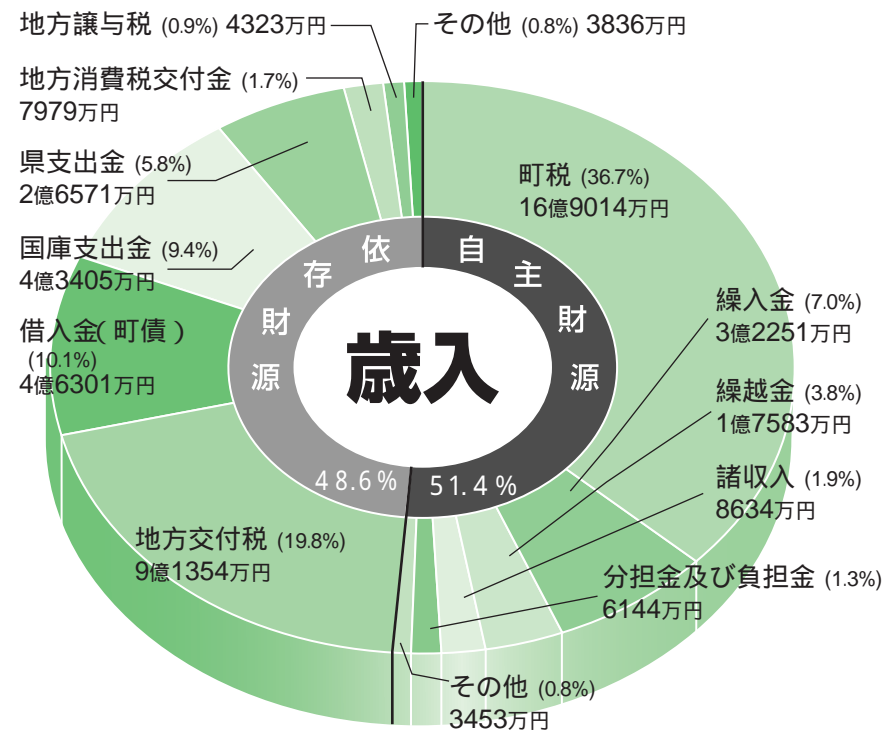
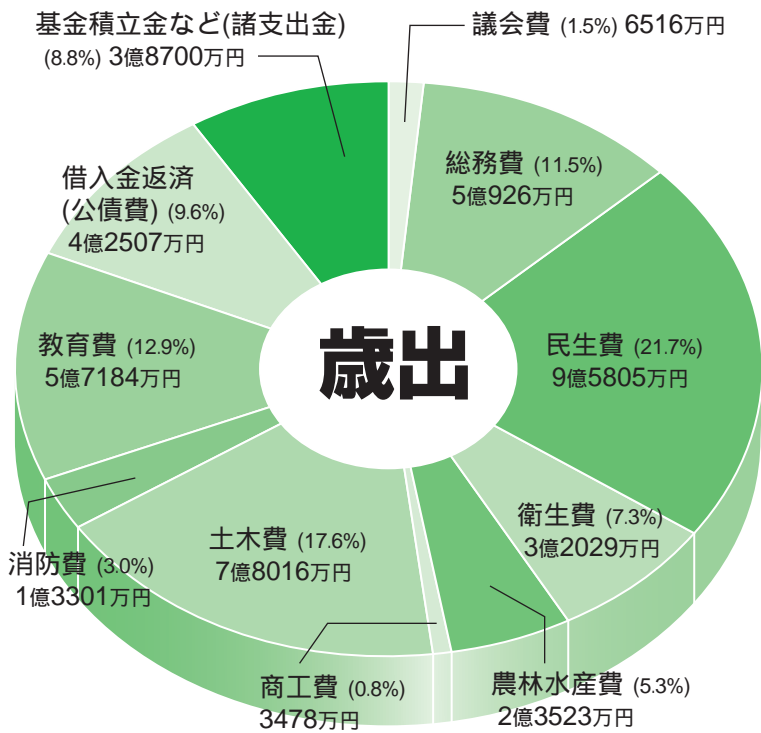
22年度  
決算を  
認定

# 小学校卒業まで医療費無料・緊急雇用の促進 社会福祉基金・財政調整基金 総額 3億8,330万円積立て

使ったお金 44億2,000万円

入ったお金 40億9,000万円

特別会計	歳出額
国民健康保険事業	7億4819万円
老人保健事業	1004万円
介護保険事業	6億4449万円
後期高齢者医療事業	7706万円
育英事業	418万円
びわこ東部中核工業団地公共緑地維持管理事業	456万円
住宅団地造成事業	6億1072万円
工業団地造成事業	3億810万円
多賀財産区管理会	8万円
大滝財産区管理会	48万円
霊仙財産区管理会	6万円
下水道事業	4億466万円
農業集落排水事業	3467万円
芹谷栗栖地域振興事業	5357万円
水道事業	6億297万円
総合計	35億383万円



9月7日、8日、決算特別委員会に付託された平成22年度一般会計決算の審査を行い、全員賛成で認定すべきものとした。

基金(積立金)	22年度末現在高
一般会計(合計)	14億6963万円
財政調整基金	10億8208万円
減債基金	1億1415万円
社会福祉基金	1億2004万円
その他6基金	1億5336万円
特別会計(7会計)	6億1668万円
総合計	20億8631万円

町債(借入金)	22年度末現在高
一般会計(合計)	42億5440万円
一般単独事業債	11億6244万円
臨時財政対策債	17億9214万円
その他11町債	12億9982万円
特別会計(合計)	54億7203万円
下水道事業債	38億1394万円
その他3事業債	16億5809万円
総合計	97億2643万円

**問** 庁舎内の空調設備の改修計画は、耐震工事の改修と併せて検討したい。

**答** 庁舎内の空調設備の改修計画は、耐震工事の改修と併せて検討したい。

**問** 教育委員会をはじめ出先機関との連携など問題も多い。

**答** 教育委員会をはじめ出先機関との連携など問題も多い。

**問** 庁内の業務・窓口を集中できないか。

**答** 庁内の業務・窓口を集中できないか。

**問** 今後の検討課題として。

**答** 今後の検討課題として。

**問** 庁舎内の広告付観葉植物を置くことに問題は、設置要綱により広告料を徴収する。

**答** 庁舎内の広告付観葉植物を置くことに問題は、設置要綱により広告料を徴収する。

**問** 出納事務において、職員2人でやっているのか。

**答** 出納事務において、職員2人でやっているのか。

**問** 支払い期限など、早めに処理するよう努めているか。

**答** 支払い期限など、早めに処理するよう努めているか。



星空の街・あおぞらの街 全国大会

**問** 四手区の防災備蓄施設の建設見通しは、開設許可の本申請中であり、本年度中には完成させたい。

**答** 四手区の防災備蓄施設の建設見通しは、開設許可の本申請中であり、本年度中には完成させたい。

**問** 臨時職員の保険負担金の増加要因は、職員数には変化はないが、勤務日数により異なる。

**答** 臨時職員の保険負担金の増加要因は、職員数には変化はないが、勤務日数により異なる。

**問** 各集落から防犯灯設置の要望・調査は、要望により設置している。調査はしていない。

**答** 各集落から防犯灯設置の要望・調査は、要望により設置している。調査はしていない。

**問** ふれあいの郷のトイレニング室も廃止の検討をしているのか。

**答** ふれあいの郷のトイレニング室も廃止の検討をしているのか。

**問** 一人当りの経費は、1200円程の維持費がかかっている。廃止するのであれば、十分な周知が必要。

**答** 一人当りの経費は、1200円程の維持費がかかっている。廃止するのであれば、十分な周知が必要。

**問** 移転も含め検討中。

**答** 移転も含め検討中。

## 主な質疑

# 9月定例議会

## 放射能汚染対策と 防災用品の備蓄

### 補正予算

9月定例議会は、9月5日から21日まで17日間で開催した。提出議案は、平成22年度各会計決算16件、23年度各会計補正予算7件、同意1件、条例2件、報告1件など、合計28件を認定、可決、同意した。陳情1件は採択し、意見書を可決した。

一般会計		特別会計(賛成多数)		町道認定		同意	
歳入の主なもの	歳入の主なもの	特別会計(賛成多数)	教育委員	町道認定	同意	代表監査委員	意見書の提出
・国の交付金	・林道補修費	・芹谷栗栖振興事業	敏満寺	・道路舗装工事	・税金の改正	鈴木 善通	「拡大生産者責任」とデポジット制度の法制化を求める意見書」の要旨
9760万円	180万円	5628万円減額	福本 香苗氏 50歳	2850万円	・寄附金の所得控除		
・県の支出金	・道路舗装工事	財源振り替え		・税の不申告者の過料	2000円引下げ		
760万円	2850万円			3万円から10万円			
・繰越金・繰入金	・台風被害林道復旧費						
3700万円	490万円						
・町債	・あけぼのパーク補修費						
6270万円減額	940万円						
歳出の主なもの	・社会教育施設						
・原子力防災備品ほか	修繕費ほか						
880万円	255万円						
・犬上ハートフル整備費							
244万円							
・水没地区合併浄化槽他							
240万円							
・農村まるごと保全補助							
340万円							
・シカ駆除補助金							
315万円							

8月18日、19日の両日に決算審査を実施した。各会計の歳入歳出決算書、同事項別明細書、実質収支、財産に関する調査は、関係法令に準拠して作成されており、その計数は関係諸帳簿、その他証拠書類と照合した結果、誤りのないものと認められた。基金運用状況も妥当と認められた。

また、使い捨て容器にはデポジット制度の導入することでポイ捨て、不法投棄が防止できる。

## 工業団地整備に 2億1870万円

### 第2回 臨時議会

8月3日、工業団地造成事業特別会計補正予算1件を可決した。請願1件は採択し、意見書を可決した。

開発申請費ほか  
栗栖地区請願  
「多賀醒ヶ井線」2車線  
1710万円

### 第3回 臨時議会

8月29日、工業団地造成事業特別会計補正予算1件、関連する一般・特別会計補正予算3件、道路認定を可決、認定した。

歳入の主なもの  
町債 2億160万円

歳出の主なもの  
・財産(土地)購入費 700万円  
・造成工事費ほか 6200万円  
・道路整備負担金 1億800万円  
・上水道整備工事費ほか 1190万円  
・下水道整備事業 1216万円  
付帯道路町道認定  
「多賀第2工業団地線」

## 第3回 子ども議会

8月2日、子ども議会が昨年につづき開催された。小学生6人、中学生6人の議員から町政に対し活発な意見、提案があった。



活発に発言された 子ども議員

国は、地方分権改革から地域主権改革に移行して進めようとしている。本町も行政と議会が合理的かつ効率的な運営を目指さなければならない。議会は、昨年11月から議会改革の先進地より講師を招き研修してきた。議員定数、報酬、議長

多賀小学校、大滝小学校5・6年生と多賀中学校1年生から3年生までの12人が一般質問された。小学生は、自分たちの身近かな学校生活、中学生の学校給食、経済対策、福島原発事故後の節電、米の消費拡大の取り組みなど。また、図書館の利用拡大につながる提案など活発な意見があった。

中学生からは、本町の課題である少子高齢化対策や全国にアピールする広報活動、東日本大震災に対する支援活動、本町における地震対策、避難訓練、学校の環境整備、通学バスの一般利用など提案があった。

町長・担当課長の答弁も丁寧に行われた。今回の体験をもとに議会、行政の役割りに理解を深めていただきたい。

この9月定例議会から一般質問に一問一答制を採用したことも取り組みのひとつである。



多賀第2工業団地造成工事

# 総務

## 町民生活の安心 平穩のために!! 暴力団排除を推進

9月12日、付託を受けた条例2件、平成22年度特別会計決算3件を審査し、可決、認定すべきものとした。

総務課所管

**問** 暴力団に係る事柄はあるのか。  
**答** 多賀町内にはない。

総務住民課所管

**問** たばこ税はどこが支っているのか。  
**答** 販売元のJ-Tほか輸入業者が納付する。

福祉保健課所管

**問** バリアフリーなどの家屋改修事業の内容は、限度額が20万円で、9割が支給されている。

**問** 介護保険によるサービスは市町によって異なるのか。  
**答** 保険料は異なっているがサービスは同じである。

総務課所管

**問** 紙オムツの購入補助は町内業者に限定か。  
**答** 町内業者に限定している。



区長会での行政説明(9月28日)

9月14日、付託を受けた平成23年度一般会計補正予算を審査し、可決すべきものとした。

### 予算特別委員会

総務課所管

**問** 防災備品で放射線測定器はどのようなものか。  
**答** 移動式で測定する簡易なもの。

**問** 他市町では常時測定監視している。  
**答** どのような使用を考えているのか。  
**答** 防災用として保管する。

原子力に対する危機をあるような常時監視は考えていない。

水道会計補正予算

**問** 南後谷の軟水処理機に使用する塩の量は、  
**答** 2日に50キロ程度使用している。

**問** すでに軟水器を取り付けている家庭に問題は、  
**答** 水質に問題はない。

特別会計決算

**問** 上下水道の還付金は、10件程度。  
**答** 公共下水道の普及率は87.8%である。

**問** 農業集落排水の普及率は、  
**答** 菅原地区は52.7%、佐目地区は53.5%。

**問** 水没地区の家屋支援事業交付金は何戸分か。  
**答** 平成20年11月以降の改修費用(領収書)のあるものを含めて11戸分支払い済。



放射線測定器

**問** 行政の考えと住民の意識はかなり違っている。住民の立場になって再考を。  
**答** 放射線がない状態で測定する必要がない。

福祉保健課所管

**問** 元気になるし発信事業の目的は何か。  
**答** 高齢者の見守り用で家の門口に目印の旗やハンカチを考えている。

産業環境課所管

**問** シカ駆除を210頭としているが肉の活用は、  
**答** 給食などに利用。

地域整備課所管

**問** 災害による改修で土木予算で計上しているものと、災害復旧費で計上しているものの区分は、  
**答** 国・県の補助金のあるものは災害復旧費として区分している。

教育委員会所管

**問** 大君ヶ畑線のバス減便により「ふれあいタクシー」による通学になるが予約方法と停車場は、  
**答** 学校から予約する。停車場は従来のバス停車場。



広報研修

### 陳情

拡大生産者責任(EPR)とデポジット制度の法制化を求める意見書採択についての意見

この趣旨については、悪い内容ではなく、前向きに検討してほしい。

ゴミ問題は大きな課題で、陳情内容を法制化できればよい。

地域的なこともあり、他町との足並み揃えて取り組めばよいのでは。

広域でゴミ処理場を建設するにあたり、この制度があれば、ゴミ削減は可。質疑・討論の後、賛成多数で採択すべきものとして決定。

### 広報常任委員会

10月4日、彦根デュークホテルで、県議長主催の広報研修会に参加した。

講師は、全国広報誌研修会で馴染みの深沢徹氏でした。

研修後、広報誌第130号(8月1日発行)のクリニックを受け、県下一の高評価を受けた。今後、親しみ易い誌面づくりに努めていきたい。

## 水没地区家屋改修 14戸着手



水谷地区家屋改修

# 産業建設

9月13日、付託を受けた平成23年度特別会計補正予算2件、平成22年度特別会計決算6件を審査し、可決、認定すべきものとした。陳情1件は、採決すべきものとした。

地域整備課所管

芦谷栗栖地域振興事業

地域整備事業と社会資本整備事業の2つに分類。地域整備事業は、家屋改修事業、合併浄化槽設置事業、集落景観整備事業。

**問** 家屋支援事業が遅れている理由は、  
**答** 予算の関係で遅れている。

**問** 予算がないのなら、町が立替えてでも早急にすべきだ。  
**答** 県に12月補正をお願いする。

社会資本整備事業は、集落排水事業、急傾斜地崩壊対策事業であり町事業と県事業がある。

**問** 24戸の家屋改修事業の進捗状況は、  
**答** 対象家屋は22戸、14戸が着手、8戸が未着手。

水道会計補正予算

**問** 南後谷の軟水処理機に使用する塩の量は、  
**答** 2日に50キロ程度使用している。

**問** すでに軟水器を取り付けている家庭に問題は、  
**答** 水質に問題はない。

特別会計決算

**問** 上下水道の還付金は、10件程度。  
**答** 公共下水道の普及率は87.8%である。

**問** 農業集落排水の普及率は、  
**答** 菅原地区は52.7%、佐目地区は53.5%。

# 総務

## 原発の安全は

8月9日、福井県美浜町の「関西電力美浜原子力P Rセンター」を視察研修した。



美浜原発P R館

関西電力(株)から美浜原子力P Rセンター所長と説明員、彦根営業所長、担当者から説明を受けた。美浜原子力発電所は、昭和45年に1号基が運転開始し、現在3基ある。近くには高浜、大飯に11基ある。現在4基が運転中。関西圏の電気使用量の約半分を発電、送電している。

況の説明を受け、以下の質問をした。  
問 使用済核燃料は2、3年で交換するとなつていますが保管処理は。  
答 放射線管理区域からのゴミは使用済核燃料のほか、作業衣、鉄クズなどがある。  
焼却や圧縮して体積を減らしドラム缶に密閉、保管。  
一部青森県六ヶ所村の低レベル放射性廃棄物埋設センターに送っている。  
問 前総理大臣が脱原発と発言しているが。  
答 原子力発電の停止は考えていない。  
13月に1回、運転を停止し、数万項目におよぶ設備の機能点検をしている。  
国のストレステストを受け、許可を得る。  
太陽光発電も大阪府堺市で実用運転に入る。

## 木質廃材利用のバイオマス発電

## 産業建設



白川町バイオマス発電所

8月8日、岐阜県白川町において、バイオマススタウン構想の取り組みと木質バイオ発電所を視察研修した。

白川町は、岐阜県東部に位置し、「東濃ひのき」に代表される林業の町である。  
平成14年に「廃掃法」が改正された町内製材所、木工所に設置されていた焼却炉約120基が使用できなくなり、林野庁の木質バイオマスエネルギー利用促進モデル事業の採択を受けた。  
平成16年4月にバイオマス発電施設「森の発電所」を約5億円で建設稼働した。  
実施主体は、「東濃ひのき製品流通協同組合」が運営。  
原材料は製材所からの残材、間伐材、林地残材、建設廃材などで「ペレット」を生成している。「チップ」を生産している。  
町内公共施設、観光施設にペレットストーブを設置し町民、観光客にPRしている。  
発電設備は、木質チップを利用、24時間運転で200〜300万kw発電、発電コストは37円である。  
原発から再生可能エネルギーへの転換が求められている今日、白川町の取り組みは本町にとって大いに参考になった。

町政のここがききたい

# 一般質問



大橋 富造 議員

## 銭取橋の架け替えを定期点検を実施

—町長—

中川原の銭取橋は、劣化の一途をたどっている。歴史的にも由緒ある橋であり、地区の重要な生活道路である。早期に架け替えを。

また通行制限についても今後検討をしたい。放射能を想定した防災計画を

と安全を守るために、今ある防災計画の見直しと放射能汚染を想定した危機管理体制の充実を。

町長の任期も半年となり、町民の目線に立った施策・現場主義・対話重視に心がけてこられたと思う。

この3年半、各種事業を進めてきた。その中で成果として、子育て、教育、芹谷の地域振興、獣害対策、農業振興など明るい方向性が見えてきたと思つている。



老朽化した橋桁



台風時 通行規制の銭取橋

本町では原子力災害避難マニュアルの作成準備や計測器の購入など計画段階にあるが、町民の命

町長自らの成果として、どう評価されているかを問う。

まだまだ取り組めない環境対策、森林の再生など未達成な課題もあり、全力を尽くしていきたい。

# 高齢者の生活支援を 地域との協働で

一町長・福祉保健課長・教育次長・生涯学習課長

山口 久男 議員



一人暮らしの高齢者は、経済的不安に加え、様々な不安を抱えて生活しているのが実態である。高齢者世帯が709世帯あり、地域でのコミュニケーションが困難になる。安心して住みなれた地域に暮らせる施策を。集落ごとの一人暮らしと高齢者世帯の実態把握は。行政の相談体制を。買い物、ゴミ出し、除雪などの生活支援体制を。予約型乗合タクシー料金の高齢者割引制度は継続すべき。

**福祉保健課長**  
生活状況を把握するための問診票で高齢者の実態把握に努めている。町と地域の窓口となる地域包括支援センターと相互に連携して相談支援に努めている。日常生活における、ちょっとした困りごとを支援する「暮らし応援サポート事業」を来年度実施に向け準備を進めている。高齢者割引については、10月見直し後の利用状況を見極めながら、今後の検討課題としていきたい。



多賀小学校給食

**教育次長**  
委託業務の内容は現在調整中であり、現時点での状況は。調理過程の衛生管理の献立は、教育委員会の責

**プールの利用時間延長を**  
町民の健康増進、ス

**町長**  
「びわ湖材利用促進事業補助金」500万円のみ。

**調理委託業務の内容は**  
食の安心・安全で栄養バランスのとれた豊かな中学校給食を実施するため、協議内容、衛生管理、地元食材の調達について問う。  
給食設備、調理課程の衛生管理、給食従事者の研修、健康管理の基準は。食材の調達、調理方法など委託事業への指示は。中学校給食衛生管理マニュアルの内容は。食の安全確保と地元産による食材の調達方法。

任のもとで献立に関する栄養バランスを考え、委託先の管理栄養士、学校栄養士、中学校とが協議を行い献立を作成。地産地消を推進し、安心・安全な米や野菜などを納入できるように。JAを窓口。

**生涯学習課長**  
来年度は適正な配置基準のもとで、最大限のサービスを提供できるように努める。  
**給食施設の国・県の予算確保を**  
施設は町費単独の事業で実施されたが、整備にかかる国などの予算確保の見直しは。



中学校ランチルーム建設工事

# ダム中止による 治水対策は 減災対策を計画的に

一地域整備課長

本多 重男 議員



白谷を源流とする芹川は、県下でも有数の美しい清流であり、総延長24kmの一級河川である。知事がダム建設の中止を決定した後、肝心の治水対策には、何の動きも見えない状況である。芹川も過去幾度となく台風や大雨による洪水により、堤防の決壊、橋の流失など、大きな被害に見舞われた経過がある。行政として、流域住民の生命、財産の安全・安心を守ることを優先に一刻も早く治水対策を講じるべきと考えるが、その具体的な事業方針は。

**地域整備課長**  
芹川における当面の治水対策は、平成2年の台風19号による洪水を安全に流下させることを整備目標に置き、治水安全度30分の1を達成させるため、

**早期の整備を強く要望**  
一町長  
木村 晴彦 議員  
備の内示がされているが、どのように理解しているのか。  
**順次改良されている**  
町長  
遅れている道路整備は、水谷地域の社会資本整備の中でも、最も重要で急がねばならない。地元関係地域だけでなく、本町にとっても早期整備を熱望するものである。県道整備は、県下の道路を総合的な見地から判

**地元との協議時期は**  
水没地区の振興アクションプランは、本年5月20日の追加項目以降、何んの進展もなく、地元との協議もない状況である。家屋改修は最優先と位置付けながら、新規申請には予算不足で先延ばしは誠意に欠ける。

**具体案を地元へ提示**  
町長  
生活再建の要となる家屋改修支援事業、それに伴う合併浄化槽、雨水や集落排水事業、急傾斜地崩壊対策など、水没地区一定のまとまりとして事業実施に向け進めていく。個人の生活設計への関与は、行政上どこまで介入することが可能で、かつ妥当なのかを見極め、慎重な対応が求められるものとする。



道路拡幅が望まれる(栗栖地先)

月之木堰止め附近の濁流

## 道路拡幅と整備は

県道多賀醒ヶ井線、水谷根線の道路拡幅と整備は、地域の振興のみならず、多賀町の発展にも有効との思いで請願書が出され、議会で採択した。県から道路幅6mで整



**町長**  
遅れている道路整備は、水谷地域の社会資本整備の中でも、最も重要で急がねばならない。地元関係地域だけでなく、本町にとっても早期整備を熱望するものである。県道整備は、県下の道路を総合的な見地から判



# 防災訓練の継続を 防災意識の向上

—町長—

北川 久二 議員

平成21年度から毎年、地域防災訓練が実施されているが、今後も継続して実施されることが大切と考えるがどうか。  
職員非常召集訓練を勤務時間内外の様々な条件を設定して行うとされているが、今日までに実施されたか。  
小中学校の避難訓練は年一回以上されているが、その成果は。

町長

一斉に防災訓練が実施できるような努力をしたい。過去に県の総合防災訓練とあわせて実施したことはある。勤務時間内外の様々な条件を想定した訓練はしていない。  
各園では毎月、小中学校では毎学期に避難訓練を実施し、避難の仕方や避難経路と職員の役割分担など確認をする訓練を行い、緊張感を持って自然と避難ができています。

## ため池の整備は

老朽ため池の適正な維持管理を図るため、各管理者への財政支援の考えは。

町長

必要な改修工事は、各管理者から協議があれば、国、県、町の補助事業を活用しながら、これまで同様に必要な適正な財政支援を行い、施設の維持管理に努めていただければ、積極的に取り組む。



防災訓練(大字木曾)

全とはいえない。  
各校、園での登下校時の交通指導やスクールガードに頼らざるを得ない。問題となっている危険箇所の検証を進め関係者と協議を行う。

## 企業誘致の現状は

第2工業団地として企業誘致を進められている。現時点で企業名・内容など公表はできないのか。  
また、財政負担(借入金)は解消できるのか。

## 早急に契約したい 企画課長

現在、この土地へ一企業からある程度進展した話があり、町も誘致に向け努力している。

今後、土地の売買契約の締結後に公表となるが、企業の営業戦略的なことも配慮したい。  
起債を財源に事業を進めており、不足が生じたときは、県にも心分の負担を求めたい。

平成24年度予算編成は平成24年3月定例議会、町長・議員の改選に伴い、予算審議も早くならざるを得ない。  
交付金が大幅に減額されるという報道もあり、税収見込みと予算規模など予算編成の考え方を問う。

## 平成24年度予算編成は

## 年内には予算編成 を終えたい

町長

24年度の予算は、一般選挙を控えているので予算編成を年内に終えたい。  
この時期は、国や県の予算方針が確定していない部分や地方交付税の概要も明確でない。

第5次総合計画に定めたまちづくりの基本構想や基本計画に基づく事業計画から、優先度、重要度、効率的な行政運営の確保、投資効果など検討を加え、予算編成をしていく。

## 電気柵維持に 補助制度を

柵設置後の維持には、地元が維持管理されているが、かなりの負担が伴い、費用捻出に苦慮されている。

維持管理の経費など補助制度の新設が急務と考えるが。

町長

獣害対策協議会において、柵設置の計画段階から維持管理に係る経費は、自然災害などによる被害を除いて、協議会、いわゆる関係集落で対応することを確認していただいている。

柵の耐用年数に関して、日頃の管理状況で大きく左右されることなどから、維持管理に対する経費補助制度に関し、今後、検討する必要があると考えている。



川添 武史 議員

# 上水道の危機管理と 緊急伝達手段は 有線を含め検討

—町長・教育長—

8月8日午後5時頃に上水道で濁水事故が発生。有線放送を活用したペーシング放送とFAXで周知をされた。  
なぜ、FAX送信は事故後6時間もかかったのか。

後日の全員協議会で、担当課も緊急放送の重要性を再認識している。  
安心・安全なまちづくりをめざし、具体的な対策と予算化が必要。

町長

濁水事故により、多くの住民や企業の皆様には多大のご迷惑とご心配をかけ、お詫びする。  
再発防止への対策、事故処理マニュアル策定など整備に着手している。



小学生通学路

# 通学路における事故防止対策を 危険箇所の検証を急ぐ

—町長・教育次長・企画課長—

土田 一善 議員



町道土田多賀線の通学路が極めて危険であり、車道と歩道の区別がつかず道幅の狭い区間が多く存在し、決して安全な通学路とは言えない。  
また、コンビニへの進入と歩道に駐車する車や郵便局裏門への荷物車が進入するときは、子ども

町道土田多賀線の開通後、通行車両が多いため、土田区で通学路の一部を見直しされ、現在の通学路に変更した。  
町内の通学路について、町道土田多賀線のみならず、車道と歩道の区別がつかず、道幅の狭い区間が多く存在し、決して安



太陽光による発電

## 現段階では実現は難しい

教育長

子どもたちに教育の一環として、節電の精神や自然環境の保全意識を高めるために、二酸化炭素も排出することなく、クリーンで地球にやさしいエネルギーで、しかも、維持費がかからない発電装置を設置することは、大きな意義がある。  
設置費用は規模により異なるが概算でも10kwの発電で5000万円以上の投資となり、付帯設備を含めるとかなりの高額となる。

## 公共施設に 太陽光発電を

中学校に本年エアコン設備を導入、稼働している。  
各小学校もエアコン設置も検討しなければならぬ。  
自然エネルギーは、太陽光発電が最も有力であり、教育の一環として学校に太陽光発電を設置する考えは。

町の避難指定場所になっている福祉保健センターの屋上に従前から要望もしているがどうか。  
エネルギー資源の将来的なことを考え、いずれ時期を見て設置の判断をしたい。

議会を傍聴して下さい  
12月定例会の一般質問は  
9日の予定です。

## 仁丹と

## シームレスカプセル

品質管理グループ

リーダー 小川 徹

森下仁丹(株)は銀粒「仁丹」を世に出して百十余年になります。

仁丹は丸剤で、「誰でもいつでも、何処でも健やかにいられるように」の思い出で生薬を銀箔で包んだ医薬部外品です。

滋賀工場は、仁丹の起源から有効成分をゼラチンで包む技術を進化させつなぎ目のないカプセル「シームレスカプセル」を製造する専用工場です。

このシームレスカプセルは、医薬品、医薬部外品はもとより工業用まで幅広い用途に利用可能なカプセルです。

国内だけでなく、アメリカ、ヨーロッパにも輸出しております。

また、大手菓子メーカーなどにも採用いただいております。

滋賀工場は、医薬品GMP適合工場で、滋賀県のS・HACCPの認証も取得しております。

高品質な製品を製造すべく、品質管理の向上を図っております。



森下仁丹(株) 滋賀工場

## 第7回

# たがととも尼

## 森下仁丹(株) 滋賀工場

### 多賀と私

私は、生まれが神戸市で自然が多いところではありませんでした。

しかし、多賀は神戸と違い、芹川、犬上川があり、高取山ふれあい公園など自然がいっぱいです。

家族でふれあい公園のイベントに参加させていただいたり、夏には川遊びをしています。



家族と懇親会(高取山ふれあい公園)

また、毎年秋には、工場内の懇親を深めるために、高取山ふれあい公園でバーベキューなど利用させていただいています。

多賀のお祭りなど色々なイベントにも参加したいと思います。

最後になりましたが、家族および工場従業員共々よろしくお願いたします。

### 編集後記

紀伊半島を中心に死者・不明者80人以上という大きな爪痕を残した台風12号。県内の農作物に、ここ数年の台風被害で最大なる被害金額をもたらした。

東日本大震災から半年間に次々と日本列島を襲う、自然災害が常に隣り合せてある。

日頃から災害への積極的な備えこそが、自らの命を守ることにつながるという戒めを、ここであらためて再認識されたのでないでしょうか。

今も、福島県では放射線汚染で、多くの人々がふるさとを追われ、避難生活を余儀なくされている。一日も早くもとの生活に戻れることを願うばかりです。

大橋 富造 記